

## 時計装置

### ■ 製品概要

本装置は、テレホンJJYサービス(国立研究開発法人情報通信研究機構)が提供する高精度の時刻データ供給システム)が配信する日本標準時を時刻ソースにして、ネットワーク経由で標準時刻を配信する装置です。NTP標準プロトコルに対応しており本装置が時刻サーバ(リファレンスサーバ)となり配信します。



### ■ 特長

- 日本標準時の時刻データ供給システム テレホンJJYサービスを利用  
テレホンJJYサービス(国立研究開発法人情報通信研究機構)が提供する高精度の時刻データ供給システム)の日本標準時を時刻ソースとしています。構内回線(内線)からの発信も可能です
- 内蔵モデムを接続して公衆回線経由でテレホンJJYサービスを使用して時刻を修正します(時刻修正精度: ±10ms以下)
- 高精度の水晶発振器を使用しているため、万が一、時刻の修正が出来ない場合でも一定時間安定した時刻を維持します
- NTPサーバとなり標準時刻を配信  
本装置自身がNTPサーバとなります。NTP標準プロトコルに対応していますのでSolaris標準のNTPコマンドにより時刻同期を行うことができます
- IPv4およびIPv6に対応しています
- ラック搭載タイプで占有ユニット数は 1Uです

## 時計装置

## ■ 仕様

項目		仕様
型名		F9110E
時刻取得	方法	情報通信研究機構のテレホンJJYサービスにアナログ回線で接続して、高精度の時刻情報を受信し時刻を合わせます
	補正頻度	メニュー形式でダイヤル間隔を選択 (24H/12H/8H/6H/4H/3H/2H/1H) デフォルト: 24H
時刻修正精度		最大±10ms
表示部		液晶(LCD)表示パネル 24桁2行(英、数字表示) 時刻、IPアドレス、エラーステータス、ログなどを表示
外部インターフェース		LAN(10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T, RJ45) × 4ポート 電話回線用モジュージャック (RJ11) × 1ポート
ネットワークプロトコル		UDP/IP、TCP/IP、ICMP
時刻情報プロトコル		NTPv3、NTPv4、Time Protocol、Daytime Protocol
主電源切断中の動作	方法	リチウム電池により内部時計をバックアップ
	期間	約3.5年(1日8時間電源ONで約5年)
その他		うるう秒: 自動設定
		利用料金: テレホンJJYサービスは無料(ただし、電話料金がかかります)
		接続回線: アナログ電話回線(デジタル回線は使用不可)
		日本国内専用

## 時計装置

## ■ 設置諸元

項目	仕様	
外形寸法 (W × D × H)	430 mm × 280 mm × 44 mm	
ラック搭載ピッチ数	1U	
質量	約3.8kg	
消費電力量	29W	
皮相電力	52VA	
発熱量	104kJ/h	
入力電源条件	電圧	AC100V~240V±10% (100V環境のみサポート)
	相	単相
	周波数	50Hz/60Hz
電源コンセント形状	平行2P アース付き	
周囲環境条件 (動作時) ※1	温度	0~40°C
	湿度	20~80%RH
電波規制	VCCI Class A	

※1: 結露がないこと